

No446

辻元清美 かわら版



自民・維新がカジノ解禁を強行採決 大阪にカジノは必要ですか？

●大阪小選挙区選出の国会議員
で、カジノ反対は辻元だけ！

大阪にカジノを誘致したい大阪・維新が主導して、安倍総理の「憲法改悪」に協力する見返りに、カジノ誘致を含むIRを推し進めているのではとの声もある中、自民党が維新と組んで、カジノ解禁に突き進んでいます。

現在、刑法はカジノを含む「賭博」を禁じています。しかし12



▶ 11月26日 高槻センター街にて

月2日、民間業者が運営するカジノを例外的に合法化しよう、という法案が、私の所属する内閣委員会で強行採決されました。

しかも、大阪10区(高槻・島本)の国会議員3人が衆議院・内閣委員会に顔をそろえたのです。

私だけが反対、自民・維新の男性議員2人は賛成です。ここで気づいたのですが、大阪全体の小選挙区選出議員19人のうち、カジノに反対なのは私だけ、ということなのです。

カジノの問題は、私が政府で観光立国を推進していたときから、ずっとくすぶっていました。カジノは一定の経済効果はあると言われていますが、マカオや韓国では行き詰っているようです。また、日本がマネーロンダリ

ングの温床になるのではないかと、暴力団の進出があるのではないかと様々な負の側面が指摘されています。維新は大阪にIRを誘致しようとしています。こんな悪影響が出たら大阪は大変な事になるのでは、と心配です。

厚労省の調べでは、日本にはギャンブル依存症といわれる人たちが536万人いますが、対策はほとんど講じられてきませんでした。推進派は「カジノで得た収益を対策予算に充てる」というのですが、そのために新たな依存症患者を増やすというのは本末転倒です。

●ギャンブルに起因する犯罪は年間1000件

カジノとは関係ない住民や子

(裏面へつづく)

どもたちにとっては、治安の心配もあります。現に、ギャンブルに起因する犯罪は年間1000件、月30件以上もあるそうです。読売新聞が大阪で行った調査では、カジノの誘致については賛成33%、反対52%と強い拒否感が出ました。

国会の手続きとしても、大きな問題があるのです。今回のカジノ法案は、政府提出法案ではなく議員立法です。議員立法を審議するときは「採決は全会一致」という、何十年もかけてつくってきた国会の絶対的なルールを、今回、自民・維新は平然と破りました。しかも、警察庁などの関係省庁や有識者、依存症の当事者団体など、参考人として話を聞くべき人もよばず、わずか5時間33分の質疑で強行

採決したのです。しかも、自民党は連立相手の公明党にすら十分な議論の時間を与えず、採決につきすすみました。憲法議論がこんな状況になつたら、と私は懸念しています。

●日本の良さが壊されていく

安倍総理は日本を「美しい国」にしたいと訴えていますが、カジノや武器輸出で経済成長させようという国を「美しい」と言えるのでしょうか。TPPや原発輸出しかり、日本が大切にしてきた価値を、風景を、壊そうとしているのしか思えません。ギャンブルのもつ負の側面に目を向けず、「金さえもうかればそれでいい」といわんばかりにカジノ解禁を押し進める自民・維新。私は、この

法案を廃案にするために最後まで闘います。大阪にカジノはいりません。「健全なカジノ」などありえないのですから。年金法案が強行採決され、高齢者の医療負担も大幅に

増えます。また、長時間労働の規制も急務です。そうした生活課題こそ、いま政治が最大限にエネルギーを注ぎ込んで議論すべき問題です。

辻元清美

『太陽の蓋』 上映会 in 高槻

3・11 戦後最大の危機！

あの時、総理官邸と福島第一原発で何が起きていたのか

開催日：2016年 12月 15日 (木)

会場：クロスパル高槻 8階 イベントホール

(※JR 高槻駅南口すぐ)

資料代：300円

<第1回上映> 15時30分～(受付開始15時)

特別報告 18時00分～18時25分

スピーカー：**福山哲郎参議院議員**
(当時の内閣官房副長官)

<第2回上映> 18時30分～(受付開始17時半)

お問い合わせ：つじともネット TEL072-676-7135